

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】 S-G34

申請日	2024/5/21	承認日	2025/6/9	委員長	印
レジメン登録		仮承認日		承認者	印

Pemb+Tra+5-FU	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
<b>対象</b>	Her2陽性の治癒切除不能な進行・再発胃癌の一次治療(CPS=1以上)で【S-G33】からの移行患者				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 (div. iv. po等)	投与スケジュール (日)														
			1	5	8	10	15	20	22	25	35						
キイトルーダ(ペンブロリズマブ)	200mg/body	div	○														
トラスツズマブ	初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg	div	○														
フルオロウラシル	800mg/m <sup>2</sup> /day	持続点滴	○	○	○	○	○										

投与間隔・休薬期間等：21日=1コース

【S-G33】からの移行患者

Pembは【S-G34】より数えて35コースまで

Traは投与予定日から1週間以内の遅れは6mg/kg、1週間を超えた場合は8mg/kgを投与する

【投与処方例 (前投薬など)】

- ※キイトルーダ、トラスツズマブ投与時は、フルオロウラシルは止め、終了後再開する。
- ※フルオロウラシル24時間持続点滴について・・・ポンプの流量誤差を考慮し、適宜速度を調整する
- ※トラスツズマブ開始前に、心エコー・心電図検査を行うこと。また、3ヶ月に1回評価を行うこと。

ボナフェック坐剤 (12.5~50mg) 挿肛 (初回量時のみ)

Y側管【水色】 day1～5

- ① Y側管【水色】 生理食塩水液1000mL＋フルオロウラシル /div (24時間持続点滴)

メイン day1

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div  
② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋デキサート6.6mg /div 30分  
③ メイン【赤-2】 生理食塩液100mL＋キイトルーダ /div 30分  
④ メイン【白】 生理食塩液250mL＋注射用水＋トラスツズマブ /div 初回90分、2回目以降30分  
注射用水は150mg:7.2mL、60mg:3mLで溶解  
※トラスツズマブの減量は許容されない

メイン day2～4

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div  
② メイン【赤】 生理食塩液100mL＋デキサート6.6mg /div 30分

メイン day5

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div

【副作用による減量基準】

※フルオロウラシル(5-FU)

好中球減少 $\geq$ G4、FN=G3、血小板減少 $\geq$ G3(7.5万に回復後) 1段階減量  
下痢・粘膜炎・手足症候群 $\geq$ G2はG1に回復後、1段階減量

初回投与量：800mg/m<sup>2</sup>/日

1段階減量：600mg/m<sup>2</sup>/日

2段階減量：400mg/m<sup>2</sup>/日

参考文献：KEYNOTE-811試験